

[生涯学習]課 経営計画書（総括表）

■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	R1 年度計画額（単位：千円）		R1 年度必要人工	
			計画額	内特定財源	職 員	臨時職員
1	家庭教育推進事業	B	971	290	0.4	0
2	生涯学習活動推進事業	B	18,737	308	0.4	0
3	生涯学習講座事業	B	1,323	130	0.7	0
4	中央公民館管理事業	B	59,939	3,761	0.7	0
5	町民会館管理事業	B	19,525	2,583	0.7	0
6	社会体育振興事業	B	10,765	363	0.7	0
7	温水プール管理事業	B	49,945	122	0.4	0
8	グラウンド等管理事業	B	55,564	1,256	0.7	0
9	野外活動施設管理事業	B	4,770	15	0.3	0
10	文化財保護事業	B	2,643	30	0.5	0.5
11	歴史民俗資料館運営事業	B	14,228	40	0.5	1
12	歴史文化教育事業	B	0	0	1	0.5
合 計			238,410	8,898	7.0	2.0

■特記事項

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	1
事業名	家庭教育推進事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	1	生涯学習の推進
目的	将来を担う子どもたちの健全育成は、学校・家庭・地域及び子どもに関する関係機関が連携し、すべての教育の基である家庭教育の充実を図り発展させること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座 ※小学生以上を対象にした講座や親子を対象にした自然体験教室等を開催する。 ・親子ふれあいファミリーフェスタ ※ふれあいまつりで小、中学校PTAと協働契約により開催する。 		
現在における経過又は課題	<p>社会構造の変化に伴い、子育て家庭の孤立や地域の子育て力が低下している。その為、学校、家庭、地域が連携して、自然体験や親子ふれあいの場づくりに務め、家庭や地域が共に子育てに参加し、その教育力を高めることが必要である。</p> <p>町の他部局やNPO登録団体等が行う同様の事業も多く、講座や体験教室に同じ受講者が参加するなど、新たな参加者が増加していかない。</p> <p>青少年問題協議会の会議を年1回開催し、江南警察署管内の青少年の犯罪状況や、愛知県青少年保護条例による様々な取り組みやイベントなどの啓発をしている。</p>		
令和元年度の目標又は改善策	<p>親子講座や親子（父子）がふれあい、ともに学習できる機会の提供など、より一層の充実を図る。</p> <p>新たな参加者の獲得のためアンケート調査等を実施しながら更なるニーズの発掘に努力する。</p> <p>事業や開催時期などが重複しないよう、他の部局と情報を共有しながら連携を密にするようにする。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	前期家庭教育講座の受付及び事業展開、アンケート調査（5月～8月）
7	日間賀島親子自然体験教室開催及びアンケート調査 青少年問題協議会の開催
10	後期家庭教育講座の受付及び事業展開、アンケート調査（10月～2月）

■事業コスト

		単位	H29 年度決算額	H30 年度当初予算額	R1 年度計画額
事業費		千円	870	971	971
（内特定財源）		千円		290	290
人工	職員	人工	0.4	0.4	0.4
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0
	計	人工	0.6	0.6	0.4

■令和元年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金額	備考（充当先等）
20-3-4-8-2-2 家庭教育講座受講料	20	10-5-1 3 家庭教育推進事業
20-3-4-8-3-1 家庭教育活動参加者負担金	270	10-5-1 3 家庭教育推進事業
合計	290	

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

項目（科目等）	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

- 前期家庭教育講座の受付及び事業展開
 - ・親子自然教室
竹で、たけのこご飯！（１回、３１人、８組参加）
親子で竹パン教室（１回、１３人、５組参加）
 - ・理科おもしろ実験講座
続・高～く、長～く飛ぶ飛行機を作ろう（１回、４２人、１９組参加）
クワガタの観察、スーパーボールロケットを作ろう（１回、４０人、２０組参加）
作用と反作用 ペットボトルロケットを作ろう（１回、３２人、１６組参加）
 - ・夏休み親子料理教室（２回、延３７人、１８組参加）
 - ・日間賀島親子自然体験教室（１回、８４人、２５組参加）
- 前期家庭教育講座の受付及び事業展開
 - ・理科おもしろ実験講座
流体力学 空高く上がる立体だこを作ろう（１回、２８人、１４組参加）
目の錯覚 マジックを作ろう（１回、２５人、１３組参加）
 - ・原始人クラブ大口出張所（２回、延１９人、８組参加）
 - ・初めての将棋講座（３回、延３３人、１５組参加）
 - ・親子料理教室（２回、延３２人、１６組）
- ふれあいまつり２０１９
 - ・大口中学校ＰＴＡ 千本引き（４８０人参加）
 - ・大口南小学校ＰＴＡ 魚釣りゲーム（５０８人参加）
 - ・大口北小学校ＰＴＡ 親子いすづくり（９８組参加）
 - ・大口西小学校ＰＴＡ わなげチャレンジ！！（９９６人参加）
- 父子料理教室（おやじの会協働事業）（１回、３１人、１４組参加）
- 青少年問題協議会で巡回パトロール実施（ヨシツヤ、アピタ、パロー）
中学校・保護司と連携して、校外巡視時に啓発チラシ・グッズを配布

■評価

家族で学べる各種講座・教室を開催することにより、家族のふれあいの場を設けることができた。参加者からも概ね好評価をいただいている。おやじの会との協働事業である父子料理教室では、父親の積極的参加がみられ、家庭教育の場としてよりよい環境を提供できている。

今後も町ＮＰＯ登録団体や小中学校ＰＴＡとの連携を図りながら、住民の多様なニーズを掌握し、事業の展開を図っていく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	2
事業名	生涯学習活動推進事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	1	生涯学習の推進
目的	人々が自らの意思で、生涯学習活動を進めることにより、大口町生涯学習基本構想に基づく「生涯学習のまちづくり」を目指すこと。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興（芸能文化事業） ・学校支援地域本部事業 ・文化協会支援 ・成人の集い実行委員会支援 ・リフレッシュリゾート施設利用助成 ・生涯学習のまちづくり事業委託 ・少年少女発明クラブ 		
現在における経過又は課題	<p>学校、家庭、地域がそれぞれの役割を持ちながら互いの教育力を補完し合い、学習活動を推進する必要がある。</p> <p>大口町文化協会は、会員の高齢化が進んでいるが、協会の自立が期待されているとともに会員をどのように増やしていくかが大きな課題である。</p> <p>学校支援地域本部事業のより一層の拡大と継続性の確保。</p>		
令和元年度年度の目標又は改善策	<p>開かれた学校づくりの一環で地域住民が学校における行事や事業への参加・協力ができるよう学校地域支援本部の継続と拡充のため情報発信やボランティアの確保などを図っていく。</p> <p>平成29年度から引き続き、文化協会の事務運営全般をまちネットへ委託するとともに、今後文化協会の自主運営を支援していく。</p> <p>また、少年少女発明クラブの体制強化を図っていく。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	大口町文化協会補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月） 生涯学習のまちづくり事業委託契約
6	町NPO団体と協働委託契約を締結 芸能文化事業の展開（6月～2月） ・ほほえみコンサート、なんでもマラソンコンサート、おおぐち合唱祭、ダンス&ミュージック
7	成人の集い実行委員会立ち上げ 事業の展開（8月～1月）
1	成人の集い開催 リフレッシュリゾート施設利用申請受付、利用券交付（4月～3月）

■事業コスト

		単位	H29 年度決算額	H30 年度当初予算額	R1 年度計画額
事業費		千円	16,082	19,649	18,737
（内特定財源）		千円		308	308
人工	職員	人工	0.3	0.4	0.4
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0
	計	人工	0.4	0.5	0.4

■令和元年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金額	備考（充当先等）
13-1-9-3-4-1 特別教室開放施設使用料	108	10-5-1 4 生涯学習活動推進事業
18-1-2-1-1-1 ふるさとづくり基金繰入金	200	10-5-1 4 生涯学習活動推進事業
合計	308	

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

項目（科目等）	計画額	増減額	内容
10-5-1 4 13-4-2 文化協会事務委託料	803	134	平成 29 年度から事務全般をまちなっと大口に委託しているが、業務の追加に伴い、委託料を増額する。

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

中央公民館廊下やロビーなどを有効活用し、文化協会や学校支援地域本部事業、地域自治組織などのPRができるようパネルの展示や事業報告などを掲載し、各種団体へ加入へのアピールを行った。

●芸能文化事業

ほほえみコンサート（3回）

大口なんでもマラソンコンサート（1回）

●成人の集い実行委員会支援

成人の集い参加者 234人参加

●文化協会支援

文化部、芸能部合わせて21団体、422人

事業実績（作品展・教室・発表会・慰問） 159事業

●リフレッシュリゾート施設利用助成

●学校支援地域本部事業

ボランティア登録人数 78人

活動日数・活動人数

・大口中学校 延278日 677人

・大口南小学校 延66日 466人

・大口北小学校 延57日 151人

・大口西小学校 延60日 231人

■評価

リフレッシュリゾート事業について、制度の原点回帰という観点から、令和2年度以降の制度変更準備として、宿泊助成額の変更（2,500円→3,000円）、日帰り助成の廃止、下呂温泉・犬山温泉の対象除外を行った。令和2年度以降、この制度変更による効果の検証を行う必要がある。

文化協会においては、事務全般について平成29年度からまちネットへ協働委託をしており、平成31年度においても業務すり合わせを行ってきた。来年度も引き続き協働委託を行うが、生涯学習事業全体の中で事務の安定化を検討したい。

学校支援地域本部事業については、生涯学習実現の場として定着してきており、参加されたボランティアの方からも、地域貢献に対するやりがいを感じられているとの意見を寄せていただいている。今後も学校支援活動が地域における役割を担っていけるよう支援を継続していく。

芸能文化事業については、町内の団体が協働委託により精力的に活動しており、町民の活動の場としての一翼を担っている。今後も、外部団体の招へいによらず、町内団体を事業の軸として、文化活動の掘り起こしを図っていく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	3
事業名	生涯学習講座事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	1	生涯学習の推進
目的	町民一人ひとりが、変化の多い社会の中で「明るく、楽しく、豊かに」生きることを願い、様々な分野の各種講座を開設し、個々の教養や技術を習得すること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定期講座 ※前期、後期に分け、主に教養を深めることや趣味の拡大を目的に1講座6回程度開催する。		<ul style="list-style-type: none"> ・旬の講座 ※その季節にあわせて1講座1回から3回程度開催する。
現在における経過又は課題	<p>住民が求める講座や教室は、多種多様であり、講座や教室の内容の企画や選定に苦慮している。多くの参加を見込める講座等を企画する必要があるが、他の部局と同様の事業や時期が重複している傾向がみられる。</p> <p>おおぐち歴史ガイドについては会員自ら講師となり生涯学習講座を開催。自らの歴史知識を活かしつつ、新たな会員も加入する等、着々と組織化に向け進展している。</p>		
令和元年度の目標又は改善策	<p>講座の開催場所を学校や学供、町外施設など幅広く活動の場を展開する。</p> <p>アンケート調査で得た情報を基に住民ニーズを吟味し、新たな講座等を企画していくとともに、既存の文化協会活動にも力を入れ、一過性のものにしないよう積極的に支援していく。</p> <p>また、歴史民俗資料館と協力し、町の歴史文化活動の一翼として、今後もおおぐち歴史ガイドの自主独立に向け支援していく。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	前期生涯学習講座の受付及び事業展開（5月～8月）
10	後期生涯学習講座の受付及び事業展開（11月～2月）
	* 事業の展開と共に、新たな講座等を企画していく。

■事業コスト

		単位	H29 年度決算額	H30 年度当初予算額	R1 年度計画額
事業費		千円	1,165	1,331	1,323
（内特定財源）		千円		200	130
人工	職員	人工	0.7	0.7	0.7
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0
	計	人工	0.9	0.9	0.7

■平成 31 年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金額	備考（充当先等）
20-3-4-8-2-1 社会教育講座受講料	130	10-5-1 5 生涯学習講座事業
合計	130	

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

項目（科目等）	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

●前期講座

- 「初めてのオカリナ教室」(4回、延べ24人参加)
- 「ポーセラーツ教室」(参加者少数のため中止)
- 「ヤマザキマザック美術館鑑賞」(1回、13人参加)
- 「五条川と入鹿切れを歩く」(4回、延べ63人参加)
- 「歴史もの知り教室」(5回、延べ40人参加)
- 「手作りパン教室」(2回、延べ32人参加)
- 「アイシングクッキー教室」(2回、延べ10人参加)
- 「バルーンアート教室」(3階、延べ27人参加)

●後期講座

- 「ヤマザキマザック美術館鑑賞」(1回、16人参加)
- 「円空仏彫刻教室」(5回、延べ34人参加)
- 「かんたんイタリアン料理教室」(3回、延べ53人参加)
- 「クラフトバンド講座」(2回、延べ14人参加)
- 「FP講座～身近なお話～」(3回、延べ9人参加)
- 「もの知り歴史講座 美濃路編」(3回、延べ64人参加)
- 「フラダンス講座」(6回、延べ106人)

●高齢者教室～さくら大学～(年12回開催)

■評価

生涯学習基本構想のキーワード「学びを創る」「学びにつどう」「学びをつなぐ」という考え方のもと、「誰でも、いつでも、気軽に学べる」をモットーに、一般成人から高齢者まで幅広い年齢層の方を対象に様々な学習機会の提供を行った。また、受講者へのアンケートや、民間事業者により各所で実施されている講座などの情報収集などにより、新たな講座を企画し、実施した。参加者からは概ね好評価をいただいている。なじみのない新規講座については、参加者が少ないものもあり、ばらつきは出ているが、生涯学習のきっかけづくりとして、今後も色々な講座を企画していきたい。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No.	4
事業名	中央公民館管理事業			
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する	
	基本施策	1	生涯学習の推進	
目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、町民が気楽に集まり教養や技術を習得することができると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用者対応 ・設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認		<ul style="list-style-type: none"> ・支払処理 ・消耗品等の補充 ・除草等清掃作業 	
現在における経過又は課題	平成26年度に耐震工事と改修を行い整備されたが、施設内の老朽箇所が散見されるため、随時対応していく。 また、周辺の樹木の剪定・伐採など、外観美化に努めていく。			
令和元年度の目標又は改善策	全館にわたり、窓枠のパッキン材が劣化しており、雨漏りの原因になっているため、改修を予定している。また、視聴覚室においては音響設備が老朽化しており、時折音がでない等の不具合も発生しているため、こちらも改修を予定している。 修繕で対応可能な部分については積極的に修繕し、できる限り対応していく。			

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。
随	窓枠修繕工事・視聴覚室改修工事
* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。	

■事業コスト

		単位	H29 年度決算額	H30 年度当初予算額	R1 年度計画額
事業費		千円	56,270	48,612	59,939
(内特定財源)		千円		3,718	3,761
人工	職員	人工	0.7	0.7	0.7
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0
	計	人工	0.8	0.8	0.7

■令和元年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金額	備考（充当先等）
13-1-9-3-1-1 行政財産目的外使用料	96	10-5-2 3 中央公民館管理事業
13-1-9-3-2-1 中央公民館使用料	3,300	10-5-2 3 中央公民館管理事業
20-3-4-8-5-1 施設利用負担金	365	10-5-2 3 中央公民館管理事業
合計	3,761	

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

項目（科目等）	計画額	増減額	内容
10-5-2 (01) 11-1-1 消耗品費	900	550	小体育室用の畳購入予定分の増額
10-5-2 (01) 13-8-1 樹木剪定等委託料	821	657	南側ケヤキの伐採及び北側ケヤキの剪定分の増額
10-5-2 (01) 15-1-1 留守番電話機器設置工事費	0	△96	工事完了に伴う減額
10-5-2 (01) 15-1-2 中央公民館窓枠修繕工事	9,856	9,856	窓枠のパッキンが劣化しているため、修繕工事を行う。
10-5-2 (01) 15-1-3 中央公民館視聴覚室改修工事	1,708	1,708	視聴覚室の音響設備の経年劣化等に伴い、改修工事を行う。

■特記事項

館全体の窓枠修繕工事及び視聴覚室の改修工事を実施し、中央公民館の維持・利便性の向上を図って行く。

■目標又は改善策に対する取組内容

修繕（主たるもの）

7月	揚水ポンプ取替修繕	378,000円
8月	マンホール取替修繕	151,200円
8月	1階女子トイレ漏水修繕	39,960円
9月	電気設備修繕	66,000円

工事

10月～2月	中央公民館窓枠修繕工事	4,950,000円
11月～1月	中央公民館視聴覚室音響改修工事	1,501,500円
1月～3月	中央公民館駐車場区画線等改修工事	533,500円

■評価

施設及び設備の老朽化に伴う故障、不具合等について、その都度修繕にて対応を行った。揚水ポンプについては、高架受水槽へ水をくみ上げる2基の揚水ポンプのうち1基が故障し、取り替えを行った。その他、排水まわりの不具合が度々発生し、その都度修繕を速やかに実施した。今後も配管周辺の老朽化に対しては注意をしていく必要がある。

窓枠修繕工事については、窓のパッキン部分が老朽化しており、台風時などに雨漏りすることから、足場を組んで館全体の修繕を実施した。

視聴覚室の音響改修工事については、従来の音響設備が老朽化により音が出ない等の不具合が頻発したため、アンプ・スピーカー等を最新機種へと改修した。改修後の利用について、概ね好評をいただいている。

区画線の改修工事においては、中央公民館北側花壇の改修及び駐車場のロータリー化を行った。これにより、駐車場の混雑解消が見込まれる。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No.	5
事業名	町民会館管理事業			
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する	
	基本施策	1	生涯学習の推進	
目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、町民が学習成果の発表を行う場や講習等の教養を習得すると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の利用者対応 ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認		<ul style="list-style-type: none"> ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充 ・ 除草等清掃作業 	
現在における経過又は課題	開館からすでに20年以上経過しており、施設の老朽化や非構造物の耐震診断の結果、屋根の雨漏り箇所や天井材に不具合が確認されていることから、平成30年度に大規模改修工事を行った。			
令和元年度の目標又は改善策	平成30年度に実施した屋根等改修工事（屋根改修、空調工事、LED照明工事、音響工事等）の完了に伴い、施設の効果的な運用を図って行く。			

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。 * 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。

■事業コスト

		単位	H29 年度決算額	H30 年度当初予算額	R1 年度計画額
事業費		千円	20,688	315,569	19,525
(内特定財源)		千円		214,581	2,583
人工	職員	人工	0.4	0.7	0.7
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0
	計	人工	0.5	0.8	0.7

■令和元年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
13-1-9-3-1-2 行政財産目的外使用料	1	10-5-2 4 町民会館管理事業
13-1-9-3-3-1 町民会館使用料	1,970	10-5-2 4 町民会館管理事業
20-3-4-8-5-2 施設利用負担金	612	10-5-2 4 町民会館管理事業
合計	2,583	

■令和元年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-2 (02) 11-5-1 光熱水費 電気	5,000	1,000	空調方式がガスから電気が変わるため、空調に係る電気代を増額する。
10-5-2 (02) 11-5-3 光熱水費 ガス	120	△1,280	空調方式がガスから電気が変わるため、空調に係るガス代を減額する。
10-5-2 (02) 13-5-1 屋根等改修工事監理	0	△4,072	工事完了に伴う減額
10-5-2 (02) 15-1-1 屋根等改修工事費	0	△293,000	工事完了に伴う減額

■特記事項

平成30年度に屋根等改修工事を完了、新たな設備によるコスト削減効果などを検証していく。

■目標又は改善策に対する取組内容

修繕（主たるもの）

12月	消火栓ホース取替修繕	217,800円
1月	舞台照明取替修繕	293,700円

工事

なし

■評価

修繕においては、消防設備点検で指摘されていた老朽化した消火栓ホースの取り替えと、舞台照明の取り替えをおこなった。

今年度は特に大きな工事を行わなかったが、平成30年度に大規模改修を実施したことにより、利用者からは概ね好評をいただいている。特に照明のLED化や音響設備の改修について、芸能文化発表会などで町民会館を利用する際に「明るくなった」「音がよくなった」等のご意見をいただいている。今後も施設の維持管理に努め、長寿命化を図っていく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	6
事業名	社会体育振興事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	1	生涯学習の推進
目的	町民が暮らしの中に「体育」を取り入れ「健康」と「元気」になれるよう、「町民と結びついた社会体育」をスローガンに各種講習会や大会などを開催し、町民にスポーツ参加の機会と普及に努めること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室開催 ・スポーツ大会開催 ・体育協会支援 ・スポーツ少年団支援 		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員事務
現在における経過又は課題	<p>若い世代から高齢者まで、生涯にわたって健康・体力づくりに取り組めるよう、多様なスポーツに親しむ機会の充実に努めていく。</p> <p>また、子供向けの事業については、総合型地域スポーツクラブであるNPO法人ウィル大ロススポーツクラブが実施しており、引き続き事業を継続していく。</p> <p>団体支援では、団体のみが参加する活動だけでなく、多くの人を巻き込める地域貢献の場を増やす必要がある。</p>		
令和元年度の目標又は改善策	<p>子供向けの事業については、現状どおりウィル大ロススポーツクラブと協働で事業を進めていく。成人向けの事業についても、同様の取り組みを推進していく。</p> <p>スポーツ教室については、スポーツ推進委員を中心にプロジェクトを組織し、ターゲットを絞った教室を計画していく。また、成人への生涯スポーツのきっかけづくりとして、気軽にできるスポーツ教室を企画していく。</p> <p>団体支援では、自分たちの視点で団体を見直し、自らが中心となる団体だけでなく地域貢献にも積極的に取り組めるよう支援する。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	各団体補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月）
5	登山教室
9	地区別ソフトボール大会開催
10	町民体育祭開催 スノーシュー教室
12	愛知駅伝参加
3	桜並木健康ジョギング開催
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員会議は毎月1回開催 ・スポーツ教室は年度当初に企画し、夏以降に開催 	

■事業コスト

		単位	H29年度決算額	H30年度当初予算額	R1年度計画額
事業費		千円	9,619	10,528	10,765
（内特定財源）		千円		424	363
人工	職員	人工	0.6	0.7	0.7
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0
	計	人工	0.7	0.8	0.7

■令和元年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金額	備考（充当先等）
13-1-9-4-3-1 学校開放施設使用料	349	10-6-1 3 社会体育振興事業
20-3-4-8-4-1 スポーツ教室受講料	14	10-6-1 3 社会体育振興事業
合計	363	

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

項目（科目等）	計画額	増減額	内容

■特記事項

■目標又は改善策に対する取組内容

●講座・教室

- 登山教室 5月（参加者21人）
- タグラグビー教室（3回、延62人参加）
- ラグビーワールドカップパブリックビューイング 9月（参加者17人）
- 雪山トレッキング講習会（雪不足のため中止）

●スポーツ推進委員活動

- 委員会（委員会10回開催、スポーツ教室、町民体育祭、桜並木健康ジョギングなどを運営）

●スポーツ大会開催

- 地区別ソフトボール大会（男子13チーム、女子2チーム参加）
- 町民体育祭（約延2,800人参加）
- 愛知県市町村対抗駅伝競走大会（21人参加）
- 桜並木健康ジョギング（新型コロナ感染防止のため中止）

●体育協会・スポーツ少年団事業

- 体育協会（11団体）
 - 春季町民総合体育大会
 - 大口町・扶桑町親善体育大会
 - 秋季町民総合体育大会
 - グラウンドゴルフ大会などを実施
- スポーツ少年団（5団体）
 - 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会地区大会
 - 体力テスト
 - 愛知県スポーツ少年大会西尾張支部大会などを実施

■評価

平成29年度から引き続き、スポーツ推進委員が主体となってタグラグビー教室を開催した。今年度はラグビーワールドカップが日本で開催され、スポーツ推進委員の企画によりパブリックビューイングを行った。推進委員の同時解説や日本チームの善戦もあり、参加者にも大変好評であった。

講座・教室について、子ども対象の事業については、ウィル大口スポーツクラブにより積極的に進められており、参加者にも好評である。成人向けの事業としては、町主催により登山教室を例年開催しているが、今年度はそれに加えて雪山トレッキング講習会を企画した。あいにくの雪不足により開催はできなかったが、開催時期などを再度考慮し、次年度の開催に向けて検討をしていく。

スポーツ大会については、体育協会やスポーツ推進委員の協力を得ながら、協働運営が実施できている。また、統合型地域スポーツクラブ（ウィル大口スポーツクラブ）とも連携しながら事業展開をしている。

体育協会の運営については、連携を密にとりながら、健全な協会運営が実施できるよう支援した。

スポーツ少年団については、各団との連携を密にとり、事務局として円滑な事業運営に尽力した。今後も各団の自主自立による運営のため、助言などを行っていく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No.	7
事業名	温水プール管理事業			
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する	
	基本施策	1	生涯学習の推進	
目的	<p>市民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるような施設の一つとして、一年を通して活用できる温水プールを整備することで市民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。</p>			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者との協定締結 指定管理者と連携を密にとり施設の管理・運営について、確認する。 		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理の範囲外の工事等について、検討し実施。 	
現在における経過又は課題	<p>施設の管理運営が平成22年度から指定管理者に委ねられ、現在は平成27年度から5年間の指定管理協定が結ばれている。令和元年度は指定管理の最終年度であり、令和2年度からの指定管理について協議していく必要がある。</p> <p>施設自体は、開館からすでに30年近く経過しているため老朽化は否めない状況であり、随時修繕等を実施していく必要がある。</p>			
令和元年度の目標又は改善策	<p>施設の管理運営が指定管理者に委ねられていることから、施設の適正な運営が行われているかの指導・助言を実施していく。また、令和2年度からの指定管理について、指定管理者の選定を実施する。</p> <p>施設については、指定管理者と協議のうえ、大規模な改修が必要な個所について把握し、今後の改修に向けて準備を進めていく。</p>			

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	指定管理年度協定締結
随	平成 32 年度からの指定管理者の選定事務 年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の動向を慎重に見守っていく。大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。

■事業コスト

		単位	H29 年度決算額	H30 年度当初予算額	R1 年度計画額
事業費		千円	48,014	51,472	49,945
（内特定財源）		千円		140	122
人工	職員	0.3	0.3	0.4	0.4
	臨時職員	0.0	0.0	0.1	0
	計	0.3	0.3	0.5	0.4

■令和元年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金額	備考（充当先等）
13-1-9-4-1-1 行政財産目的外使用料	122	10-6-2 3 温水プール管理事業
合計	122	

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

項目（科目等）	計画額	増減額	内容
10-6-2 03 15-1-1 温水プール配管改修工事費	0	△2,409	工事完了に伴う減額

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

備品購入

2月 温水プール用備品（ボタン式自動券売機） 990,000円

その他

指定管理者であるウィル大口スポーツクラブと定期的に情報共有会議を実施

■評価

今年度は、ウィル大口スポーツクラブの指定管理任期の最終評価年であり、これまでの指定管理者としての運営実績について、長年のノウハウの蓄積による運営の安定性と多くの自主事業を積極的に実施している点が、審議会において高い評価を得た。このことから、令和2年度以降も任意指定としてウィル大口スポーツクラブへ指定管理委託することとなった。今後も施設の修繕を適宜実施し、安全に利用できる環境整備に努めてもらう。

指定管理者との連携については、ウィル大口スポーツクラブと定期的な情報共有会議を行い、問題点の洗い出しなど、お互いの方向性の確認に努めた。

突発事項としては、プールの自動券売機が故障したため、予備費の充用により新規に自動券売機を購入した。今後も突発的な事項においては、指定管理者であるウィル大口スポーツクラブと連携を密にとり、施設保有者として対応していく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No.	8
事業名	グラウンド等管理事業			
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する	
	基本施策	1	生涯学習の推進	
目的	<p>町民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるよう、また、多種多様なスポーツ種目の要望に応えられるように施設を整備し、町民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。</p>			
事務内容	・ 指定管理委託した施設の町負担分支払		・ 工事施工	
現在における経過又は課題	<p>平成27年度からすべてのスポーツ施設を指定管理者制度に移行したため、指定管理者と調整しながら施設の維持にあたっている。(平成27年度追加施設：野球グラウンド、町テニスコート、屋内運動場)</p> <p>引き続き、全ての施設がより適正に管理・運営されるような施設管理の方法を検討していく。</p>			
令和元年度の目標又は改善策	<p>管理運営が指定管理者に委ねられている施設について、指定管理者が適切な管理に努めるよう指導・助言をしていく。また、経費抑制や適正な管理ができるよう協議を続ける。</p> <p>平成30年度の総合運動場ナイター設備のLED化に引き続き、令和元年度は総合運動場テニスコートの照明について、LED化改修工事を行う。</p>			

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	指定管理者制度導入施設の年度協定締結
4	総合運動場テニスコート照明改修工事設計
6	総合運動場テニスコート照明改修工事入札
7	総合運動場テニスコート照明改修工事施工
<p>年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の運営を見守っていく。 大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。</p>	

■事業コスト

		単位	H29 年度決算額	H30 年度当初予算額	R1 年度計画額
事業費		千円	42,993	74,067	55,564
（内特定財源）		千円		20,650	1,256
人工	職員	0.3	0.3	0.7	0.7
	臨時職員	0.0	0.1	0.1	0
	計	0.3	0.4	0.8	0.7

■令和元年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金額	備考（充当先等）
13-1-9-4-1-2 行政財産目的外使用料	656	10-6-2 4 グラウンド等管理事業
20-3-4-8-6-1 特別養護老人ホーム負担金	600	10-6-2 4 グラウンド等管理事業
合計	1,256	

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

項目（科目等）	計画額	増減額	内容
10-6-2 (02) 13-5-1 総合運動場ナイター設備改修工事設計	0	△615	設計完了により減額
10-6-2 (02) 13-5-2 総合運動場テニスコート照明改修工事設計	313	313	総合運動場テニスコート照明改修工事の設計費
10-6-2 (02) 15-1-1 総合運動場管理棟空調改修工事費	0	△1,210	工事完了により減額
10-6-2 (02) 15-1-2 総合運動場ナイター設備改修工事費	0	△28,371	工事完了により減額
10-6-2 (02) 15-1-4 総合運動場テニスコート照明改修工事費	12,803	12,803	総合運動場テニスコートの照明をLEDに更新

■特記事項

平成30年度のナイター設備更新に引き続き、テニスコートの照明も水銀灯からLEDへ改修する。

■目標又は改善策に対する取組内容

設計委託

5～6月 総合運動場テニスコート照明改修工事設計委託 280,800円

工事

7～12月 総合運動場テニスコート照明改修工事 11,245,300円

■評価

総合運動場テニスコート照明改修工事について、当初の予定どおり実施設計と施工を実施したが、施工中に設計想定と異なる事象が発覚し、変更契約を行った。この設備改修により従来の水銀灯式からLED灯式に変わり、明るさや点灯時の運用について、利用者からも概ね好評価をいただいている。今後は電力消費量の削減や、取替頻度の抑制による費用効果が期待できる。

施設全般の管理については、指定管理者であるウィル大ロススポーツクラブにおいて、管理ノウハウの蓄積により安定した運営が行われている。今後も連携を密にし、情報共有を図っていく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	9		
事業名	野外活動施設管理事業				
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する		
	基本施策	1	生涯学習の推進		
目的	町民が自然にふれあいながら規律、協調、友愛の精神を養い、心身ともに健全に、また、より豊かな心を養うことを目的とし、安心して利用できる施設管理を目的とする。				
事務内容	<table border="1"><tr><td>・設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認</td><td>・支払処理 ・消耗品等の補充</td></tr></table>			・設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認	・支払処理 ・消耗品等の補充
・設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認	・支払処理 ・消耗品等の補充				
現在における経過又は課題	地元住民の有志グループに日常管理を委託してきたが、大きなトラブル等もなく現在も同じグループに日常管理を委託している。 開場からすでに30年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。アスレチック施設については経年劣化が目立ってきており、毎年の遊具点検により使用の可否を見極めながら、運用を図っていく必要がある。				
令和元年度の目標又は改善策	施設の老朽化に対応するため、可能な限り早期の修繕を実施している。また、地元地域からの要望等にも早期の対応に心がけている。 今後の施設のあり方については、引き続き方向性を検討していく。				

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。</p> <p>* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。</p>

■事業コスト

		単位	H29 年度決算額	H30 年度当初予算額	R1 年度計画額
事業費		千円	5,158	4,769	4,770
(内特定財源)		千円		15	15
人工	職員	0.2	0.3	0.3	0.3
	臨時職員	0.0	0	0	0
	計	0.2	0.3	0.3	0.3

■令和元年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
13-1-9-4-2-1 野外活動施設使用料	15	10-6-2 5 野外活動施設管理事業
合計	15	

■令和元年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

修繕（主たるもの）

8月	ふれあいの森炊事場屋根修繕	99,427円
9月	ふれあいの森排水路修繕	64,800円
10月	ふれあいの森女子トイレ修繕	19,800円
3月	ふれあいの森遊具等撤去修繕	60,500円

その他

10月 ふれあいの森樹木剪定 285,670円

地元の有志団体であるふれあいの森クラブに、鍵開け等の日常管理を委託
年1回アスレチック遊具の安全点検

■評価

ふれあいの森においては、たびたび突発的な故障・不具合が発生し、その都度、速やかに修繕を実施した。

日常管理を委託しているふれあいの森クラブにおいては、適切に清掃・開錠施錠を実施しており、今後も地元の有志団体として随意契約としていく方向である。

定期点検において、アスレチック遊具等の一部が撤去推奨の判定を受けており、撤去修繕により遊具1か所の撤去を行った。今後も定期点検の結果を鑑み、適宜修繕及び撤去を実施し、安全に利用できる環境整備に努めていく。

さらに今後は、施設の維持管理方法や利用形態に際し、遊具等の残存状況を勘案しながら、施設そのものの在り方を検討していく必要がある。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課（歴史民俗資料館）	No.	10
事業名	文化財保護事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本政策	1	生涯学習の推進
目的	郷土に遺る貴重な文化遺産の保存に努め、積極的に活用することにより次世代へ継承する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定文化財の保存と活用 ・ 新規に指定可能な文化財の調査 ・ 町の歴史に係る調査及び研究 ・ 埋蔵文化財の保護と開発に係る調査 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統芸能の継承と普及
現在における経過又は課題	<p>町内に遺る指定文化財及び未指定でも近年急速に失われつつある、郷土の歴史を考える上で貴重な文化遺産について日々調査を行い、それらを保存及び活用することにより、町民の認知を促進し、保護に対する意識の醸成を図る。</p> <p>各地区の伝統芸能について、近年後継者不足に悩まされているので、伝統芸能を発表する場及び次世代へ継承する事業を推進する。</p>		
令和元年度の目標又は改善策	<p>指定文化財に限らず、町内に遺る文化遺産等について、専門家や地域住民の協力を得ながら調査を進め、その成果を町民に対し還元する。</p> <p>10月に開催している伝統芸能発表会及び大口北小学校で実施している各地区の保存会と児童の交流事業を引き続き開催し、発表及び次世代へ継承する場を設ける。また、大口町伝統芸能保存会に未加入の地区も含め、町内各地区の活動状況を把握しながら、保存会の継続に寄与する。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
10	文化遺産の調査及び普及啓発活動 文化遺産に関するイベント及び講演会の検討。12月頃までに実施。 調査は専門家や地域住民の協力を得ながら通年で実施。さらに、地元の文化遺産に関する認知度を高めるため、普及啓発活動を随時開催。
6	伝統芸能保存及び継承 伝統芸能保存会会議において、各地区の現状等を把握し、今後の活動について検討。
10	伝統芸能発表会の開催 大口北小学校との交流会

■事業コスト

		単位	H29 年度決算額	H30 年度当初予算額	R1 年度計画額
事業費		千円	3,462	2,741	2,643
（内特定財源）		千円	30	30	30
人工	職員	人工	0.4	0.5	0.5
	臨時職員	人工	0.5	0.5	0.5
	計	人工	0.9	1	1

■令和元年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金額	備考（充当先等）
町史、遺跡報告書売払い	30	
合計	30	

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

項目（科目等）	計画額	増減額	内容
伝統芸能発表会運営委託料	701	135	秋の伝統芸能発表会で毎年設置しているステージの部材を新調するため。

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

町内に遺る多種多様な文化遺産について、各種団体より情報提供を受けながら調査を進めた。また、さくらメイト、中小口コミュニティ、老人クラブ等から依頼を受け、町内の文化遺産に関する講演会及び現地解説を実施した。

秋の伝統芸能発表会が晴天の下、無事開催することができた。今回は昨年度末の金助桜まつりに引き続き、豊田獅子囃子保存会にお囃子を披露していただいた。また、町外のゲスト出演団体として江南市安良棒の手保存会にご披露いただいた。10月に開催した大口北小学校連携事業「ふるさと大口・お祭りたいけんひろば」は、児童が熱心に保存会の方々の話を聞き、体験していた。

■ 評価

文化遺産に係る講演会及び現地解説は、様々な団体より依頼を受け、身近な文化遺産を知っていただく機会を創出し、地域に遺る文化遺産を改めて知る機会をつくることができた。

秋の伝統芸能発表会は無事開催することができ、各地区の保存会にとって日頃の成果を披露する場を設けることができた。特に春の金助桜まつりに引き続き、豊田獅子囃子保存会に参加いただいたことは大きな進展であった。しかし、豊田の獅子屋形は寸法及び重量により、会場である小口城址公園のステージに登ることができず、披露は獅子屋形を伴わないお囃子であった。このため、来年度以降は獅子屋形が全てステージ上で披露できるように検討していかなければならない。大口北小学校との連携事業は、参加した各保存会の方々が生き活きと児童に伝統芸能を教えることができた。以上の事業を継続して実施し、各地区の保存会の活性化へと繋げていきたい。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課（歴史民俗資料館）	No.	11
事業名	歴史民俗資料館運営事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本政策	1	生涯学習の推進
目的	先人の培ってきた過去の営みを現在に伝えるため、郷土「おおぐち」に関する事柄や美術分野等の展示を実施することにより、町民の知的欲求に応える。また、小中学校の見学受入れや資料貸出等により、学校教育に寄与する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年4回の企画展開催 ・ 常設展示室の管理 ・ 展示解説及びそれに係る調査研究 ・ 文化財収蔵庫の管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 収蔵品管理及び活用 ・ 学校授業に係る見学受入れ ・ 博物館実習生の受入れ ・ 年報、展示図録等の発行 		
現在における経過又は課題	<p>年4回開催している企画展のうち、春の企画展「端午の節句」及び冬の企画展「ひなまつり」は毎年恒例の企画展である。上記2本の企画展を中心に、町民が積極的に資料館を利用していただく機会を創出する。</p> <p>文化財収蔵庫内の資料及び施設自体の活用を推進する。収蔵品については、小中学校及び高齢者施設等に対し積極的に活用する機会を設ける。</p>		
令和元年度の目標又は改善策	<p>定例化した春及び冬の企画展は、来館者から直接いただいた意見及びアンケート等を分析し、来館者のニーズに合わせ運営を改善するように努める。夏及び秋の企画展についても、郷土の歴史をはじめとしたテーマを中心に、町民の知的好奇心が刺激される内容にすることによって、資料館の利用を促進する。</p> <p>文化財収蔵庫及び収蔵品の活用は、年1回の施設開放及び月1回の「オレンジカフェ・大口」への資料貸与を引き続き実施し、教育及び福祉関係機関と連携しながら推進する。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	春の企画展開催（5月下旬まで）
6	中学生職場体験受入
7	夏の企画展開催（9月上旬まで）
8	博物館実習受入
10	秋の企画展開催（12月中旬まで）
11	ふれあいまつりでの文化財収蔵庫一日開放
1	冬の企画展開催（3月中旬まで）、小学校3年生授業「むかしの道具」で収蔵庫見学及び資料体験

毎月、大口町社会福祉協議会が開催する「オレンジカフェ・大口」に収蔵品貸出
小中学校、高齢者施設及び町内各種団体に対し文化財収蔵庫の団体見学受入
また、収蔵品利用の依頼があれば実施

■事業コスト

		単位	H29年度決算額	H30年度当初予算額	R1年度計画額
事業費		千円	11,439	11,481	14,228
（内特定財源）		千円	40	40	40
人工	職員	人工	0.5	0.5	0.5
	臨時職員	人工	1	1	1
	計	人工	1.5	1.5	1.5

■令和元年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金額	備考（充当先等）
図録売払い、広告収入	40	
合計	40	

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

項目（科目等）	計画額	増減額	内容
常設展示室改修委託料	2,750	2,750	常設展示室内の音響機器更新及び既存の映像資料を再構成するため。

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

年4回開催する企画展のうち、春の企画展「端午の節句」及び冬の企画展「ひなまつり」は今年度も開催。夏の企画展はNPO法人まちねっと大口と連携し、東日本大震災以降に大口町と継続して繋がりを持つ活動や自治体に関する展示を行った。秋は昭和30年代を中心とした町内の風景及び暮らしの写真を、当時の資料や現在と比較できるような定点写真とともに紹介した。

文化財収蔵庫内の所蔵資料は「オレンジカフェ・大口」においてテーマごとに毎月資料を貸出し、参加者に対し回想法の手法を取り入れたレクリエーションを実施した。文化財収蔵庫自体は「ふれあいまつり」開催中に開放して内部見学の手を創出。小学校3年生の授業「むかしのどうぐ」においても、収蔵庫内の見学に利用していただいた。

■評価

春の企画展は予定通り開催することができ、今年度も多くの来館者で賑わったが、冬の企画展は新型コロナウイルスの感染拡大により中断することとなった。このため、冬の企画展の入館者数は例年の半分以下となってしまったが、中断した際の反響は大きく、冬の企画展の認知度と開催する意義を改めて感じた。よって来年度以降も継続して開催していきたい。夏の企画展は「住民が企画するミュージアム・エキシビション」と称し、普段開催する内容とは違う展示であったが、資料館としては全く新しい手法で開催できたことの意味は大きい。

文化財収蔵庫及び収蔵品の活用について、継続して実施している「オレンジカフェ・大口」をはじめ、学校教育とも連携しながら活用を広げていきたい。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課（歴史民俗資料館）	No.	12
事業名	歴史文化教育事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本政策	1	生涯学習の推進
目的	町内の歴史及び文化を、様々な団体と連携しながら次世代へ継承することにより、町民が郷土を愛し、町の魅力として誇りを持てるまちづくりを推進する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園との連携事業 ・ 小中学校における郷土学習 ・ 地域自治組織との連携事業 ・ 町内各種団体との連携事業 		
現在における経過又は課題	<p>各種団体に対し、講演及び現地解説を実施する中で、地域（家庭）において郷土の歴史及び文化を次世代へ語り継ぐことが断絶している現状が挙げられる。</p> <p>よって、様々な団体と連携し、老若男女問わず郷土の歴史、文化及び現在も遺る多様な文化遺産を次世代へ継承することにより、町民の郷土愛を育み、町の魅力として誇りを持つことができるようなまちづくりを推進していかなければならない。</p>		
令和元年度の目標又は改善策	<p>これまで実施している西保育園及び南保育園との連携事業、中地域自治組織及び南地域自治組織との取組み、そして町内の小学校6年生及び中学校2年生を対象とした「松江開府の祖」堀尾吉晴公に関する授業を今年度も継続して実施する。機会があれば様々な団体と積極的に連携し、本事業を幅広く展開する。</p> <p>また、小中学校の郷土学習について、可能な支援を提案する等、積極的な連携に努める。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・南保育園連携事業「郷土を愛する心を育む活動」（年間5～6回） ・西保育園連携事業（年間3回） ・小学校6年生郷土学習「郷土の偉人 堀尾吉晴公」（10月以降実施予定） ・中学校2年生郷土学習「郷土の偉人 堀尾吉晴公」（6月） ・中地域自治組織文化部会「歴史と民俗研究会」 ・南地域自治組織「南地域の歴史や文化遺産を次世代につなぐ事業」 ・「おおぐち歴史ガイド」による生涯学習講座 <p>その他、まちづくり団体等、町内の様々な団体とともに連携し事業を展開。</p>

■事業コスト

		単位	H29 年度決算額	H30 年度当初予算額	R1 年度計画額
事業費		千円	0	0	0
（内特定財源）		千円	0	0	0
人工	職員	人工	1	1	1
	臨時職員	人工	0.5	0.5	0.5
	計	人工	1.5	1.5	1.5

■令和元年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金額	備考（充当先等）
合計		

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

項目（科目等）	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

町内保育園との「郷土を愛する心を育む活動」は、今年度北保育園とも開催し、直営の全保育園で実施することができた（南保計6回、西保計3回、北保計2回）。また、各小中学校において「郷土の偉人 堀尾吉晴公」をはじめとした各種授業の連携、中地域自治組織のアドバイザー、南地域自治組織の「南地域まちづくりかわら版」への寄稿は昨年度から継続して実施した。

その他、北地域自治組織では総会講演で地域の文化遺産について紹介し、町内の教職員を対象とした大口町歴史文化講座では大口町の近現代について開催。企画展で作成したパネルは中学校で展示した。そして今年度は「おおぐちむかしものがたり」と称し、全小学校を対象に、各学期計2回程度、休み時間中に郷土おおぐちに関する講話を実施した。

「おおぐち歴史ガイド」は、生涯学習講座で講師を行うとともに、ふれあいまつりではブースを出展し啓発に努めるなど、精力的に活動を推進した。

■評価

今年度も小中学校を中心に多くの団体と連携を図ることができた。特に各小学校の休み時間中を利用して実施した郷土の歴史や文化にまつわる講話は、学校側にあまり負担をかけずに活動できる方法として大変有効であった。今年度は初の試みということもあり、対象学年や内容について試行錯誤を重ねながら進めてきたが、次年度はより効果的な活動方法を検討しながら継続して実施したい。

その他、「おおぐち歴史ガイド」を筆頭に、地域自治組織のイベント等、地域の住民を対象に歴史や文化を活かした事業がさらに展開するように進めていきたい。